

かしない こまどめざくら 檜内の駒止桜

- ◇ 指定日 昭和59年1月23日
- ◇ 所在地 古田
- ◇ 所有者 個人

里山に普通に見られるサクラなのでヤマザクラと呼ぶ人も多いのですが、標準和名はカスミザクラです。花柄や葉柄には毛があり、ケヤマザクラと呼ばれることもあります。

檜内にあるこのカスミザクラには次のような話が残されています。

文化2年(1805年)、江戸の商人である恋人を待ちわびながら病死した檜内出身の女性をその青年が訪ねてきましたが、乗っていた馬がサクラの木のところで止まって動かなくなりました。そこには女性の墓があり、事情を知った青年は泣き崩れました。

この話から200年以上の時間がたちますが、駒止桜は火災にあって焼け、現存する桜はその後芽吹いた二代目の木とされています（高さ約8m）。

